

## 白浜レスキューネットワーク通信 2月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&amp;FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
 白浜レスキューネットワーク

### 自殺者救済活動

2月1日～2月28日

電話件数 79件

保護件数 5件、5人(男性3人、女性2人)

帰宅件数 4件、4人(男性2人、女性2人)

○4日、救急車の救急隊員から電話を受けた。今救急車に乗っている60代の男性をそちらで保護することはできないかという内容だった。当NPOのことを知り、こちらに向かってくる途中で頭が痛くなり、救急車を呼んだとのことだった。まず病院に搬送され、バスで来ることになり、保護した。その男性は、地元で生活保護を受けて生活していた。話をしている中で落ち着き翌日帰宅した。

○9日、電話で相談を受けていた10代の女性を保護した。親との関係に悩んでいた。1人になって落ち着いて考える時間が欲しいと家族と話した上で出てきた。14日家族のもとに帰宅した。

○17日、三段壁から電話があり、男性を保護した。話をしている中で落ち着きその日に帰宅した。

○25日、日高で地域の貧困に関わる活動している方から連絡を受け、長年路上生活をしている男性を保護した。共同生活に加わることになった。

○27日、三段壁のパトロール中に女性を保護した。話をしている中で落ち着き、翌日帰宅した。

### 生活自立支援活動

2月1日～2月28日

滞在者数 17人(男性17人)

自立2件、2人(男性1人、)

○警備会社で働いている50代の男性は、18日

に無事退院することができた。引っ越した先のアパートから夜ご飯を食べに来ている。

○沖縄から来た発達障害を抱える男性は、11日、まちなかキッチンの2階で行っているシェアハウスに移った。

○16日、生活保護を受けることの決まった60代の女性がアパートに移った。引っ越した後もボランティアと言う形でこちらに来て作業を手伝っている。

○17日、先月三重県から来た男性が家に帰宅した。両親との関係もある程度回復することができた。先日就職が決まったという連絡を受けた。

○昨年東京からきた50代の男性が、20日から1週間東京に帰省し、両親のお墓参りをすることができた。

○先月戻ってきたバスの運転手をしていた男性がホテルのフロントの仕事に就職。18日から働き始めた。

○病院の調理場で働いていた男性が仕事を辞めた。職場での人間関係をうまく築くことができなかった。人からの注意や忠告を素直に聞くことができなかったことが原因だった。本人は自信を無くして落ち込んでいるが、自分の弱さに向き合う良い機会だと話をしている。今後はまちなかキッチンで働きながら少しずつ頑張ることになった。

\*休止していたキムチとおからクッキーの製造、販売を再開した。また近くの山を開墾し、ハーブ園をつくる計画も進んでいる。



←おから  
クッキー



↑ハーブ園

### 自殺予防活動

・放課後クラブ・コペルくん

開催日数20日、延べ人数138人(内中学生42人)



28日、小学校で6年生を送る会が行われた。2, 3年生の時からコペルくんに来ていた子たちが、いよいよ卒業と思うと月日が経つのは早い。今年の6年生のはコペル君に関わっていた子が特にたくさんいた。

写真は手作りおやつ チョコフォンデュ↓



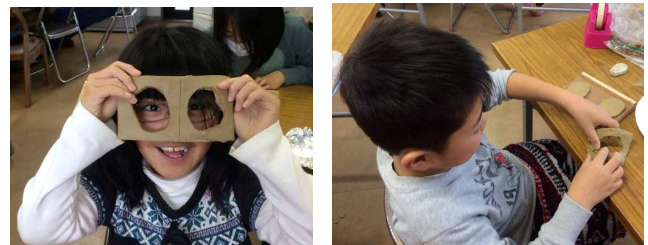
中学生の受験勉強も華僑を迎えた。数学(特にルート)に苦勞していた3年の男子中学生が一名加わった。東京から10日間ほど研修にきた現役大学生が指導にあたった。今まで頑張ってきた成果を上げてほしい。

### はじめ人間自然塾 オカリナづくり



3月8日(土)南部梅林へ行こう!と遠足を企画したが、悪天候のため中止せざるをえず、急きょオカリナづくりに変更した。18人参加。

オカリナキットをつかって悪戦苦闘しつつ頑張った。



### ・相談電話

5、12、19、26日に毎週休まず行った。特定の人が、待ちわびたようにかけてきている。

### ・まちなかキッチン

今月は2709個のお弁当を販売した。少しずつ、内装の工事を進めている。さらに快適な空間を提供していきたい。

毎日4件のお宅に無料で惣菜を提供することができた。

### ・今後の講演予定

3月11日：泉大津市で講演

3月15日：大阪司法書士会で講演

3月21日：キリスト教福祉学会分科会で発表

5月17日：和歌山いのちの電話講座